

# I 令和4年度 学校経営計画

校訓「ひびき合い、つくり合う」

学校教育目標 ひびき合い、つくり合う中で、自立に向けて力強く生きる人を育てる

## 1 目指す学校像

### (1) 教育目標

『「ひびき合い つくり合う」中で、自立に向けて力強く生きる人を育てる』

～児童生徒が、地域社会の中で自立した生活ができるようにするために、安全・安心な学校生活を基盤に、周りの人たちと豊かに関わり、自分らしく力強く生きる人を育てる～

### (2) 目標具現化の柱

- ア 命を守り、人権を尊重した安全・安心な学校づくり (安全・安心)
- イ 教職員が効率よく業務を行い、児童生徒の学びを支えるための学校づくり (安全・安心)
- ウ 一人一人の確かな成長と発達を支える授業づくり (授業)
- エ 児童生徒、保護者、地域、関係機関とつくり合う学校づくり (連携)

## 2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載) \*「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア・イ 安全・安心	<b>教職員の高い人権意識の醸成と自己肯定感や人権意識の高い児童生徒の育成</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒主体の安心できる学校生活づくり</li> <li>・発達段階に応じた人権教育の充実</li> <li>・教職員間及び児童生徒への適切な接し方について確認し合う機会の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を信頼し安心して教育を任せられる保護者 100%</li> <li>・自他の人権を大切にする態度や行動ができた教職員 100%</li> <li>・学年会等において不適切な接し方に該当しないか確認をし合ったとする教職員 100%</li> </ul>	生徒指導学部
	児童生徒の事故防止のための学習環境の整備や校内の設備点検及び危機管理体制の整備と共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な想定での訓練の実施と緊急時への対応の整備</li> <li>・ヒヤリハットの共有</li> <li>・学習環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種訓練に対し、自分の役割が分かり危機意識が高まった教職員 100%</li> <li>・安全点検や環境整備により、重大事故 0</li> </ul>	防災生徒指導保健給食総務体育
	<b>業務の効率化と精選による業務改善</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の見直しによる事務処理時間等の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の見直し事例を 1 つ以上考え実施できた教職員 90%以上</li> <li>・学校全体での業務の見直し事例 5 例以上</li> </ul>	全体
ウ 授業	<b>個別の教育支援計画と個別の指導計画に基づいた授業実践と確かな成長を実現するための授業の充実と教職員の専門性の向上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ともに学び、力強く活動する人を育てる」をテーマとした校内研修の実施</li> <li>・年間指導計画の書式・記載の見直し</li> <li>・教材教具の整理や ICT 機器の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の確かな成長のために学習評価が理解できたとする教員 100%</li> <li>・各教科等の指導目標や学習内容を確認し、年間指導計画や個別の指導計画の書式見直しに沿って立案ができた教員 100%</li> <li>・教材教具の整理や ICT 機器の活用ができたとする教員 100%</li> </ul>	研修教務自立活動情報教育図書学習学部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部人材、校内教職員を活用した指導・支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部人材 (PT,OT 等) や校内教職員の協力により指導力の向上につながった教員 90%以上</li> </ul>	
エ 連携	就学前から卒業後までの一貫した相談支援体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や関係機関と連携した支援体制と進路指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路体系図 (手引き)」の作成により児童生徒の発達段階に合った進路学習の押さえを理解し指導に活かす教員 90%以上</li> <li>・学年会や支援会議等で児童生徒の対応策を考え実践できた教員 90%以上</li> </ul>	進路地域連携
	<b>地域資源を活用した共生社会を目指し、保護者、関係機関、地域との連携・協働体制の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間交流、「交流籍」を活用した交流および共同学習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流関係者 (相手校・保護者・担当者) が目的を理解し、有意義な活動ができたと答える教員 90%以上</li> </ul>	地域連携進路情報教育総務図書学習
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業製品の販売、ボランティア活動や学習展示、HPの充実等、地域への積極的な発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を理解してもらうために効果的に発信ができたとする教職員 90%以上</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールを導入し地域との共同活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会を設置し、地域とつながることを意識して活動をしたとする教職員 90%以上</li> </ul>	企画会	